



東北大学

平成 22 年 12 月 8 日

報道機関 各位

東北大学

「はやぶさ」功労者 感謝状を内閣府より授与

12月2日(木)内閣府本府において、『「はやぶさ」功労者感謝状贈呈式』が開催され、本学より大学院工学研究科 吉田和哉 教授(航空宇宙工学専攻)が出席し、海江田宇宙開発大臣及び高木文部科学大臣から感謝状が授与されました。

今回の感謝状贈呈式は、奇跡の生還を果たした小惑星探査機「はやぶさ」の研究開発等に貢献した大学・企業に対して贈られたものです。本学では、贈呈式に出席した吉田和哉教授の「イトカワ」から試料を採取するメカニズムの研究・技術開発に加え、今まさに世界中が注目している「はやぶさ」が持ち帰った微粒子から「イトカワ」の物質を特定し、今後の試料分析にも携わっている大学院理学研究科 中村智樹准教授(地学専攻)の研究に対するもので、今回の「はやぶさ」計画に貢献した本学の技術・研究開発の大きさがうかがえます。

《コメント》

■吉田和哉教授

『「はやぶさ」は非常に挑戦的なプロジェクトであり、そのためにさまざまな困難や予想外の事態にも遭遇しました。最終的に小惑星からのサンプル・リターンという世界初の偉業を達成することができ、開発メンバーの一人としてプロジェクトにかかわることができたことを、たいへん光栄に思います。』

■中村智樹准教授

『小惑星「イトカワ」の微粒子特定に5カ月もかかってしまいましたが、あきらめずに続けてよかったと思っています。今後は、微粒子を詳しく研究して、太陽系の初期進化過程を解明していきたいと考えています。』

なお、平成 22 年 12 月 23 日(木・祝日)13時から「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーである川口淳一郎教授と会津大学の出村裕英准教授をお招きし、吉田和哉教授、中村智樹准教授 4氏の講演とパネルディスカッションを「川内萩ホール」で開催します。

また、12月初旬より片平キャンパスのエクステンション教育研究棟1階及び川内萩ホールにて「東北が支える宇宙惑星科学」と題した展示会も開催しております。

(お問い合わせ先)

東北大学総務部広報課広報係 tel022-217-4977